



国際ロータリー2620地区  
長泉ロータリークラブ

週報



発行/会長:鈴木 真雄 幹事:市川 明宏  
例会/毎週水曜日 12:30~13:30  
例会場/財米山記念館ホール  
事務局:〒411-0941

静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1



TEL・FAX: (055) 988 - 3070

E-mail:n-jimu@nagaizumi.com

<https://www.nagaizumi.com/>



財団法人 米山記念館外観

第1812回 例会 2024.3.13 wed

PETS 出席報告

川瀬一隆君・望月義明君・渡邊富夫君・加藤精一君

また、全国の自治体や、関係機関等に所属する専門職を対象としたアンケート調査で支援の取組事例などを収集し、ヤングケアラー発見の着眼点や連携して行う支援の内容をマニュアルにまとめていくとしています。いずれにしましても、ヤングケアラー支援が社会全体で取り組むべき課題として位置づけられてからまだ数年に過ぎませんが、それでも実態調査を通じて学業や部活動、友人との付き合い、進路などに影響を受けている子どもが一定の割合で存在することがわかりました。私たちも職場の中で、家族の世話をしながら働いている若い従業員がいなか気を配るようし、介護離職に至らないような職場環境を目指すことが求められています。

長泉ロータリークラブ 会長あいさつ  
会長 鈴木 真雄 MASAO SUZUKI



本日の例会では、先日、静岡新聞朝刊に「ヤングケアラー 18歳以上も支援に力を」との記事が掲載されていたので、ヤングケアラーの実態について、お話しさせていただきたいと思います。

厚生労働省が2020年~22にかけて小中高だけでなく大学生の実態調査を行いました。その結果、「世話をしている家族がいる」と回答した大学3年生は、6.2%(約16人に1人)で、将来の不安として「希望する進路の変更を考えざるを得ない」と答えた学生が目立ち、必要な支援としては進路や就職などの相談を挙げていました。また、静岡県独自の实態調査として、小学5年生~高校3年生の23万人を対象に実施したところ、「世話をしている家族がいる」が1万733人で生活への影響として、「遅刻・早退をしてしまう」、「進路変更を考えざるをえない・変更した」、「学校に行きたくてもいけない」などの結果でありました。

大人に代わって日常的に家事や家族の世話を担うヤングケアラーの支援を初めて法制化する『子ども・若者育成支援推進法』の改正案が今国会に提出され、今まで法的な定義がなかったヤングケアラーを、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」と明記し、国や自治体が支援に努める対象と定められました。

ヤングケアラーはこれまで18歳未満と定義されることが多かったですが、18歳以上の若者も支援の対象に加えることになりました。大人になっても家族のケアが終わるわけではありませんので、年齢で区切らないサポートが必要です。

私達民生・児童委員もヤングケアラーの研修を受講しましたが、家庭内のデリケートな問題であることから表面化しにくく医療や学校等、関係機関の現状把握も不十分と言われてます。家族が抱える課題が複雑で複合化しやすい現状において、ヤングケアラーを早期に発見して支援につなげるためには、福祉、介護、医療、教育等に係る関係機関・団体が個別に機能するだけではなく、お互いの業務を理解した上で連携して取り組むことが重要だと言われてます。



幹事報告

幹事

市川 明宏

【直近プログラム内容】

3/20(水) 祝日休会

3/27(水) PETS報告

長泉町奨学生 来訪

【千歳CRC訪問】

5/17(金)・18(土) 植樹



会員総数	出席計算に 用いた会員数	出席	出席率
24名	22名	18名	81.82%

出席免除会員欠 2名 MU 0名

Smile スマイル報告

・前島 大一君  
ゴジラを見た！

・川瀬 一隆君  
先週、お休みしてすいません。



# 3月10日(日) PETS開催！ 出席報告



2024年3月10日 山梨県甲府市の甲府駅北口に立地している「山梨県立図書館」を会場として会長エレクト研修セミナーが開催された。図書館はモダンで、ガラスを多く用いた透明性の高いデザインは、室内の活動を可視化し、まちとの一体感が演出されているため、図書館だけではなく、展覧会や講演、研修会、グループ活動も行える複合施設となっていた。今回、長泉ロータリークラブでは以下の4名が参加となり、加藤さんのキャンピングカーに同乗させて頂き、富士山の素晴らしい景色を横目に、行きの道中では、今後の活動の打ち合わせなどに時間をに使わせていただき、皆さんありがとうございました。

- ・静岡第2グループ 次期ガバナー補佐 渡邊 富夫さん
- ・静岡第2グループ 次期ガバナー補佐事務局会計 加藤 精一さん
- ・静岡第2グループ 長泉RC 次期会長 川瀬 一隆
- ・静岡第2グループ 長泉RC 次期幹事 望月 義明さん

さて、本年度の国際ロータリーのテーマ「THE MAGIC OF ROTARY」ということで、長泉ロータリークラブにおいても次年度は、節目の年となります。クラブの中で、マジックを引き起こせるよう皆さま、よろしくお願いたします。

次年度会長 川瀬一隆



## ロータリーのビジョン声明として

優先事項1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

優先事項2「参加者の基盤を広げる」の目標

優先事項3「参加者の積極的なかわりを促す」の目標

優先事項4「適応力を高める」の目標

## 2024-25年度 地区目標(案)

1. 会員増強
2. 公共イメージの向上
3. クラブ計画書の充実
4. 各委員会事業への理解と参加、委員会の活用
5. END POLIO
6. ロータリー財団への寄付と補助金の積極的活用
7. ロータリー米山記念奨学会支援
8. クラブ優秀賞への挑戦
9. 地区大会(11月9、10日)への参加
10. 国際大会(カナダ・カルガリー)2025年6月21日～25日への参加

となります。継続性を鑑みますと例年あまり大きな変化はないように思いますが、毎年の打ち出しで会員維持の方向から縛りが緩和され、ゆるくなってきていると感じます。(本当に良いのだろうか?) 不易流行の言葉通り、ロータリー精神など絶対に変えてはいけないこと、時代と共に変化していかねばならない事。色々ありますが、ロータリアンとしての自覚やクラブ運営まで緩んできているように思えます。ロータリアンとしての日頃の行動に社会に於ける人間力、人間性、常識の崩れを立て直さないとロータリー活動の形骸化と精神の墮落を危惧します。また、行動計画の単年毎の締めは、更に形骸化を進め付け焼き刃になりがちな活動を危惧します。心あるロータリアンから3年ごとの戦略計画を打ち出しておりますが、2005年からのCLPなどと何も変わっておりません。良いことではありますが、多様性、公平さ、インクルージョンなどは、世界中の流れではありますが、少数の現象、問題を大きく捉えずぎるものかと思ひます。私達日本のロータリアンは、日本人として世界に誇れる平和観を持っています。今こそ本当の世界平和をロータリー活動に取入れ活動していかねば、真の幸福は、来ないと思ひます。宗教・政治・イデオロギー・民主主義・絶対主義を乗り越えて世界平和を実現できる団体が、日本のロータリーである事を祈りたい。私達長泉ロータリーの行動は、小さな1歩ではあるが、米山梅吉翁が一番近いクラブとして周りの人々、地域社会に貢献していかなければならないでしょう。

次年度幹事 望月義明

PETSでの会議で、2024-25年度ステファニーA.アーチックRI会長が次年度のテーマを「ロータリーのマジック」に決めたのはアーチックさんがドミニカ共和国にて水の浄化装置を設置する活動をしたときに汚れた水が浄化装置から出てくるときには透明な水になっているのを見た現地の子供が「もう一度その魔法を見せて」といわれたそうです。浄化装置は魔法ではありませんが、世の中をよい方向に変化させるには、私たちがあらゆる仕掛けを努力して整える必要があり、「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきたいと思いますというテーマについての説明をされていました。次年度会長幹事分科会では次期ガバナー補佐として静岡第2グループの会長幹事をお願いしたことは、年度内に1度は移動例会として米山梅吉記念館を利用してもらいたいこと。春と秋の記念館例祭にできるだけ多くの会員が出席するようになりたいこと。クラブの周年事業には記念館支援を織込んでいただきたいことなどをお願いしました。また、RIの3年目標と「ロータリークラブ・セントラル」への入力についての説明や第2グループとしての合同奉仕事業に関して各クラブの意見を聞きました。

静岡第2Gガバナー補佐 渡邊富夫

